

やかげ学実践

やかげ学実践の流れ

1学期	2学期～3学期	3学期
出前講座	希望調査/体験的学習	校内発表会
矢掛町の各分野の専門家をお招きし、町のことを教えて頂きます。	地元企業で指導頂きながら学習します。高校に帰ってきたらその日の仕事内容をレポートし、改善や反省を振り返ります。	半年間の「やかげ学実践」での学びを整理し校内発表会を行います。

「やかげ学実践・出前授業」での学び

「やかげ学実践」では「やかげ学」と同じようにまず「矢掛の町」を知ることから始めますきちんとした大人の対応が出来るよう、挨拶や配慮など、社会人としてのマナーも同時に身に付ける訓練をします。「やかげ学実践・出前授業」の受講者は、2年生一学期の終わりにはそれまでの「出前講座」での学びの成果を確かめるために「やかげ学テスト」を受験します。テストの結果は各自が志望する施設決定にも影響していきます。

「やかげ学実践」での学び

2年生の二学期からいよいよ「企業学習」が始まります。昼休みのご飯を食べたら、さっそく企業ごとに分かれて出発！名札とそれぞれの企業の服装に着替えます。

生徒は毎週木曜日の午後、同じ施設に半年間通い続けます。企業の方々が指導者として、現場の仕事を教えてくださいます。高校の外にも生徒たちにも見守り育ててくださる方が存在するという事は、とても心強いですね。



「校内発表会」での学び

2月で終了した「実践」での活動の振り返りと整理を行っていきます。当初の目標は達成できたのか？仕事の課題と改善策はどこになるのか？自分にとって「やかげ学実践」とはなんだったのか？時間をかけて体にしみ込ませた学びを話し合いながらまとめていくことで、多くの発見が生まれてきます。

